

サイバー防犯ボランティア育成のための研修カリキュラム(モデル)の概要



はじめに

本育成のための研修カリキュラムは、サイバー防犯ボランティアが活動するために必要な知識と技能について、最低限かつ基礎的な内容で構成

安全に安心して活動できるようにするための一助として、活動を始める前に受講する研修カリキュラムを作成(以下「育成カリキュラム」という。)

1 育成カリキュラム

本育成カリキュラムは、サイバー防犯ボランティアが、初めて活動を行う際に必要な知識と技能について、一つのモデルとして項目と時間数を例示するもの

(右記サイバー防犯ボランティア育成カリキュラム(例)のとおり)

2 参考資料

右記サイバー防犯ボランティア育成カリキュラム(例)の項目ごとに、参考となるホームページ等のサイト名、内容、アドレスを記載

3 サイバー防犯ボランティア団体による実践例

既に活動しているサイバー防犯ボランティア団体が、新しいボランティアに対して実践している育成カリキュラムの例(3例)を紹介

4 インターネット基本用語集

インターネット基本用語23語を紹介

サイバー防犯ボランティア育成カリキュラム(例)

項目	小項目	内容	目標	時間
概況	インターネットの実態	インターネットの実態、利便性 インターネットの危険性 サイバー犯罪相談、検挙状況 具体的な相談事例、検挙事例	インターネットの実態、利便性及びその背後に潜む危険性を理解させるとともに、サイバー防犯ボランティア活動の必要性や活動上の基本的な心構えを理解させる。	0.5
	ボランティア活動の要点	ボランティア活動の在り方 ボランティア活動の具体的な目的 基本的な心構え		0.5
基礎知識	インターネットの基礎知識	インターネットの基礎用語 インターネットの仕組み 各種コンテンツの仕組み、利用方法	インターネットの仕組みや広く一般に利用される各種コンテンツの仕組み、利用方法を理解させるとともに、関係法令や官民連携した違法・有害情報対策を理解させ、ボランティア活動上必要とされる基礎知識を習得させる。	1.0
	違法情報	IHCの違法情報(10類型) その他の違法情報 具体的な違反態様		0.5
	有害情報	IHCの有害情報(3類型) その他の有害情報 有害情報の具体例		0.5
	関係法令	プロバイダ責任制限法 電子消費者契約法 青少年インターネット環境整備法 出会い系サイト規制法 など		0.5
	違法・有害情報対策	政府における推進体制・取組、官民連携 民間事業者の主な取組		0.5
活動要領	教育活動	講習素材の収集 講習の内容及び方法の選定 活動上の留意事項	サイバー防犯ボランティアに期待される各種活動につき、活動重点、活動要領及び活動上の留意事項等を理解させるとともに、安全かつ安心して活動を継続させるために必要な知識と技能を習得させる。 (実際に予定する活動のみを選択し、カリキュラムとして設定するものとする。)	1.0
	広報啓発活動	参考資料の収集 啓発資料の作成要領 活動上の留意事項		1.0
	インターネット空間の浄化活動	情報収集のポイント 違法情報等の発見時の措置 活動上の留意事項		1.0
	悪質な利用者への指導、注意	対象の選定方法 指導、注意の方法 活動上の留意事項		1.0
	体験型学習	実際の活動の見学 ロールプレイング方式の演習		2.0
その他	関係機関・団体等	関係機関・団体等の紹介 連携を要する関係機関・団体等 情報共有を要する関係機関・団体等	ボランティア活動を実施していく上で、関係機関・団体等との連携の必要性を理解させる。 ボランティアを組織化し、安全に活動するための知識や心得を習得させる。	0.5
	その他	ボランティアの育成、組織化 安全に活動するための基本的心得 ネット社会の常識など		0.5
育成カリキュラム時間総計				11.0

(注)上の表中「IHC」とは、インターネット・ホットラインセンターのこと。